ニカラグア内政・外交・経済（２０１４年１０月分）

【概要】

<内政・外交>

　内政では、国会において核兵器廃絶宣言や米国の対キューバ経済制裁非難宣言が可決された。また、政府は１３日に起きたフォンセカ湾沖の地震、１０月前半の大雨被害に対し注意警報を発出した。さらに、３ヶ月間続いたＰＬＩ及びＰＬＣの間で進められていた野党連合交渉は両党本部間の確執により決裂した。

　外交では、イラン議員団、エスピノサ・ペルー副大統領、クウェート・アラブ経済開発基金代表がニカラグアを訪問した一方、オルテガ大統領は、キューバにおいて開催されたエボラ出血熱に関するＡＬＢＡ特別首脳会議に出席した。また、ニカラグアは、クウェート・アラブ経済開発基金代表訪問中にチナンデガ県の病院建設のための協力協定に署名した他、エクアドルから豪雨被害に対する緊急援助物資を受領した。

<経済>

両大洋間運河の建設開始を２ヶ月後に控え、運河に係る動きが活発であった。運河ルート沿いでは世帯調査が進むとともに同地域の住民による運河建設に対する抗議デモ活動が活発化し、さらに、ブレネス枢機卿等有識者は政府に対し同運河計画の情報開示や住民の声への対応を訴えた。また、政府は地震、干魃、最近の豪雨等の年間を通じて発生した自然災害及び感染症による緊急事態に対応するための第２次補正予算案を国会に上程した。

１　主要な動き

（１）政治

ア　エボラ出血熱に関するＡＬＢＡ特別首脳会議

オルテガ大統領は、エボラ出血熱に関するＡＬＢＡ特別首脳会議に出席するためキューバを訪問した。エボラ出血熱への対策に関心があるとの姿勢を示すことで、ＡＬＢＡ諸国をはじめとする国際的及び国内の支持拡大を試みた。また、オルテガ大統領は同会議出席後も数日間キューバに滞在しており、同期間中、秘密裏に持病の治療をしていたとの憶測が広がっている。

イ　野党連合に向けた党本部間の交渉延期

　野党連合を目指していた独立自由党（ＰＬＩ）と立憲自由党（ＰＬＣ）だが、両党本部間で軋轢が生じた。ＰＬＣを率いるアレマン元大統領は、与党サンディニスタ国民解放戦線（ＦＳＬＮ）と協定を結んだとして、モンテアレグレＰＬＩ党首を非難した一方、モンテアレグレＰＬＩ党首は、ＰＬＣの汚職を非難した。このため、３ヶ月間続いた野党連合交渉は決裂し、野党勢力の連携強化に陰りが生じた。

（２）経済

ア　ニカラグアのビジネス環境

　世銀発表のDoing Business２０１５によると、ビジネス環境に係るニカラグアの順位は昨年比５位上昇し、１１９位（１８７カ国中）となったが、域内最下位であった。当国におけるビジネスの阻害要因として、電力供給や納税手続きの点で周辺諸国に比べ遅れを取っているほか、登記手続きには２００日以上要すことが足かせとなっている。アゲリ民間企業最高審議会会長は継続した政府と民間セクター間の対話を評価しつつも、ビジネス環境改善に向けた政府の取り組みの必要性を指摘した。

イ　両大洋間運河建設に向けた動き

　１７日、８月末から運河ルート沿いで行われていた世帯調査の終了がHKND社によって発表された。同調査は中華系土地評価機関によって行われ、運河建設予定地域の住民は約２万９千人に上ることが明らかとなった。一方、１０月中に完成予定であったF/Sは引き続き実施されており、１２月の建設工事開始までの動きに注目が集まっている。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | **2014年** | **2013年** | **2012年** |
| **10月** | **9月** | **8月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 6.6% | 6.5% | 6.7% | 6.8% | 6.5% |
| **貿易収支（百万ドル）** | **未発表** | △205.9 | △250.9 | △2792.3 | △2,740.7 |
| **輸出（百万ドル）** | **未発表** | 207.4 | 217.9  | 2,400.7 | 2,677.4 |
| **輸入（百万ドル）** | **未発表** | 413.4 | 468.8 | 5,193.0 | 5,418.1 |
| **海外送金 （百万ドル）** | **未発表** | 94.7 | 92.2 | 1,077.7 | 1,014.2 |
| **外貨準備高（百万ドル）** | 2,169.6 | 2,131.6 | 2,156.3 | 1,993.0 | 1,887.2 |

（出典：ニカラグア中央銀行）

２　クロノロジー

（１）内政

２日　国会は、核兵器廃絶宣言を可決。

１３日　オルテガ大統領は、フォンセカ湾沖発生の地震により注意警報発出。

２１日　ＰＬＩは、ＰＬＣとの野党連合交渉の決裂を発表。

２２日　オルテガ大統領は、内務省３５周年記念式典に参加。

２３日　保健省は外交団に対し当国のエボラ出血熱への対応に係る説明会を実

施。

（２）外交

　１日　イラン議員団がニカラグア国会を訪問し、協力合意に署名。

　６日　エスピノサ・ペルー副大統領、ニカラグアを訪問。

１２日　第１７回ラテンアメリカ・カリブ海政党会議を開催（於：マナグア）。

１６日　アメリカ合衆国国土安全保障省は、ニカラグア人に対する一時的滞在許可（ＴＰＳ）の１８ヶ月延長を発表。

２０日　オルテガ大統領は、エボラ出血熱に関するＡＬＢＡ特別首脳会議に出席（於キューバ）。

２７日　オルテガ大統領は、ルセフ・ブラジル大統領候補及びバスケス・ウルグアイ大統領候補の勝利に祝電を発出。

２８日　ニカラグアは豪雨被害に対するエクアドルからの緊急援助物資を受領。

２９日　国会は、米国の対キューバ経済制裁非難宣言を可決。

（３）経済

１４日　ヘルビッシュＯＰＥＣ国際開発基金事務総長はオルテガ大統領と会談し、アコスタ財務大臣との間で道路建設のための９４０万ドルの融資に署名（於：マナグア）。

１５日　ニカラグア石油公社組織法改正案が国会で可決。

１７日　アラブ経済開発クウェート基金副代表はオルテガ大統領と会談し、病院建設への３千ドルの融資に署名。

　　　　８月末から開始した運河ルート沿いの世帯調査が終了し、中華系土地評価機関は同地域には約３万人が居住している旨発表。

２４日　オペテペ島民が運河建設に反対するデモ行進を実施。

２７日　ヌエバギネア市の住民は運河建設に反対する抗議活動を実施。(了)